

令和4(2022)年度学校評価 評価指標の達成状況

重点目標	評価項目	評価指標(a)	達成状況(b)		全国平均	達成度(b/a×100)	
1 教育内容の充実	分かりやすい講義 (アンケート結果) 大体分かる	80 % (114名)	107名/142名×100	75.4%	—	94.2%	A
	農業技術検定合格率	3級	26名/30名×100	86.7%	57.8%	86.7%	B
		2級	50%以上 (22名)	8名/43名×100	18.6%	21.7%	37.2%
スマート農業に接する 学生の割合	100 % (145名)	145名/145名×100	100%	—	100%	A	
2 入学生の確保	農業生産学部 応募者	70名以上	(推54)+(前9)+(後8)	71名	—	101%	A
		70名以上	(推49)+(前9)+(後7)	64名	—	91.4%+	A
	農業経営学部 (いちご学科) 応募者	10名以上	(本6)+(追8)	14名	—	140%	A
		10名以上	(本6)+(追7)	13名	—	130%	A
	定員充足率	96.3%	76.2%				
オープンキャンパス 参加者数	160名以上	農業生産学部 第1回64名 第2回37名 第3回50名 農業経営学部(いちご学科) 第1回8名 第3回14名 第4回13名	186名			116.3%	A
3 進路指導の強化 (生産学部)	就農率	60 % (30名)	20名/60名×100	33.3%	55.2%	55.6%	C
	進路決定率	100 % (60名)	54名/60名×100	86.8%	96.8%	90.0%	A
4 研修機能の向上	分かりやすい講義 (アンケート結果) 満足度	80 % (44名)	39名/46名×100	90.0%	—	106.0%	A
	専門研修の 修了生農業従事率	80 % (24名)	32名/35名×100	91.4%	—	114.3%	A

※ 達成度 A : 90%以上 B : 70%以上 90%未満 C : 50%以上 70%未満 D : 50%未満

【全国平均について】

上記表中、「全国平均」欄の「定員充足率」「就農率」「進路決定率」のについては、全国農業大学校協議会作成の「令和4年度全国農業大学校等の概要」に基づく数値（令和3年度卒業生及び令和4年度入学生の状況）によるもの。

【スマート農業に接する学生の割合について】

農業経営学科：水稲、麦大豆→水位観測システム+FOEAS（地下水位制御システム）

：露地野菜 →収穫機・定植機（ICT：苗テラス導入）+FOEAS（地下水位制御システム）

園芸経営学科

野菜：いちご →気象観測データ収集・複合環境制御 スマホによる制御 苗テラス

：トマト →気象観測データ収集・複合環境制御 スマホによる制御

花き：複合環境制御装置 苗テラス

果樹：気象観測データ収集

畜産経営学科：牛群管理システム、個別感知センサー及びカメラ設置によるモニタリング
（分娩感知センサー（牛温恵）、（発情感知センサー（牛歩））